

和光市調査から伺える 市民の意識の概要



2012/11/19

東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム

藤原 佳典

I．調査の目的

- ⑧ 和光市健康づくり条例にむけて、世代を通して住民がもつ、健康で安心な暮らしについての意識を、特に、人や地域のつながり(社会的な環境)の側面に注目して明らかにすること。

Ⅱ．調査の方法

- ☞ シニア世代の安全・安心な暮らしに関する調査(以下高齢者調査)
 - 対象者:65歳以上で、要介護4,5を除く和光市民全員11,172人
 - 調査時期:2012年7月～9月、原則として郵送式 回収率74.2%

- ☞ 地域の絆と安心な暮らしに関する調査(以下若・中年者調査)
 - 対象者 20歳～64歳の和光市民、無作為抽出4,000人
 - 調査時期:2012年10月～11月、郵送式 回収率35.0%

Ⅲ. 調査結果

∞ ∞

1. 調査結果の概要

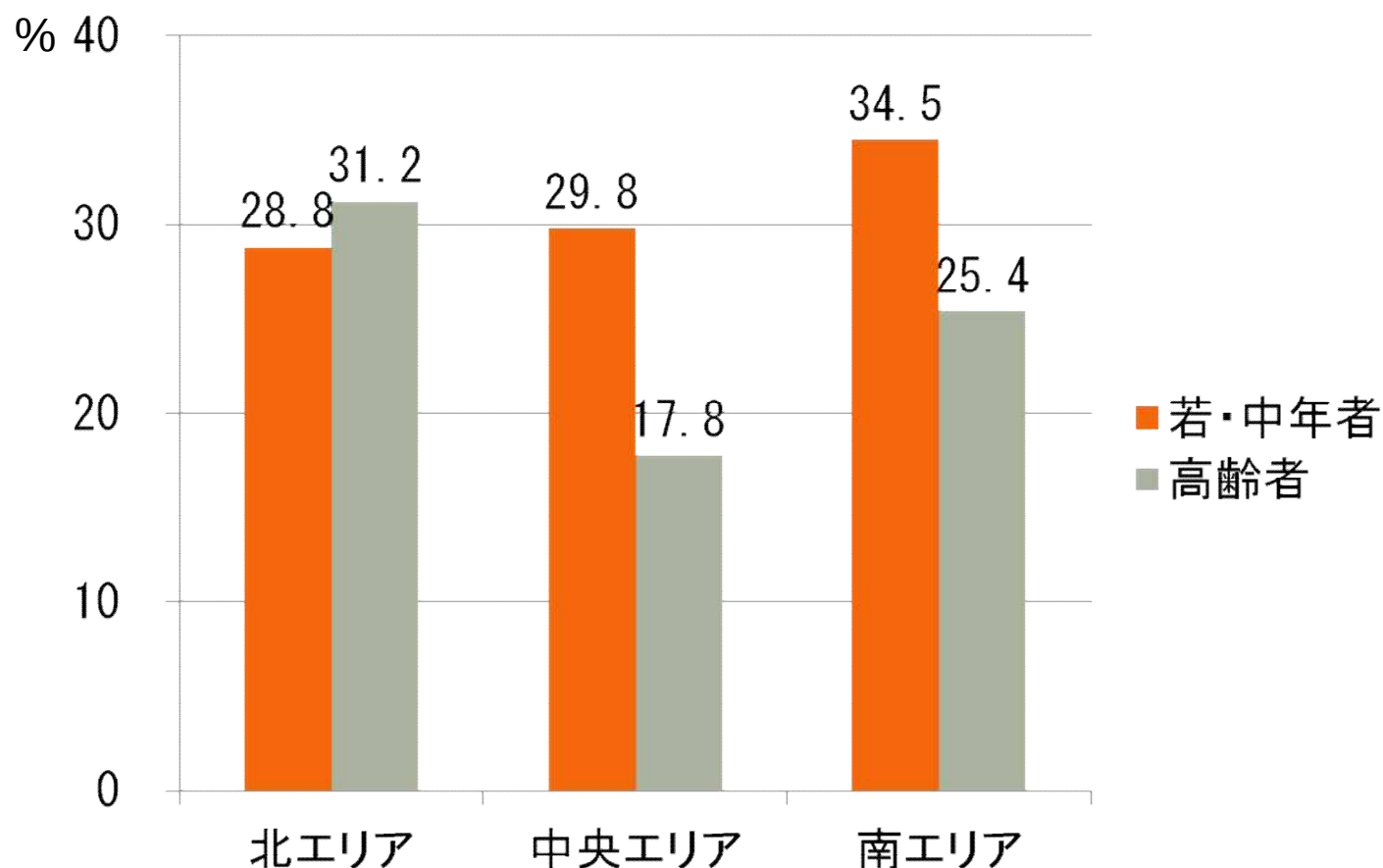
北エリア(新倉、下新倉)中央エリア(中央、西大和団地、本町、丸山台、広沢)南エリア(諏訪、諏訪原団地、南、白子)

		回答者数 (回答率)	平均年齢	男女比 (男性の割合)
北 エリア	若・中年者調査	468人(35.0%)	41.6歳	47%
	高齢者調査	2,442人 (71.7%)	73.7歳	46%
中央 エリア	若・中年者調査	443人(38.0%)	42.5歳	42%
	高齢者調査	2,335人 (75.3%)	74.2歳	45%
南 エリア	若・中年者調査	466人(31.1%)	44.9歳	45%
	高齢者調査	3,516人 (75.3%)	73.9歳	45%
全市	若・中年者調査	1,399人 (35.0%)	43.0歳	45%
	高齢者調査	8,299人 (74.2%)	73.9歳	45%

注: 無回答等の要因で、エリアの計と全市は一致しない。

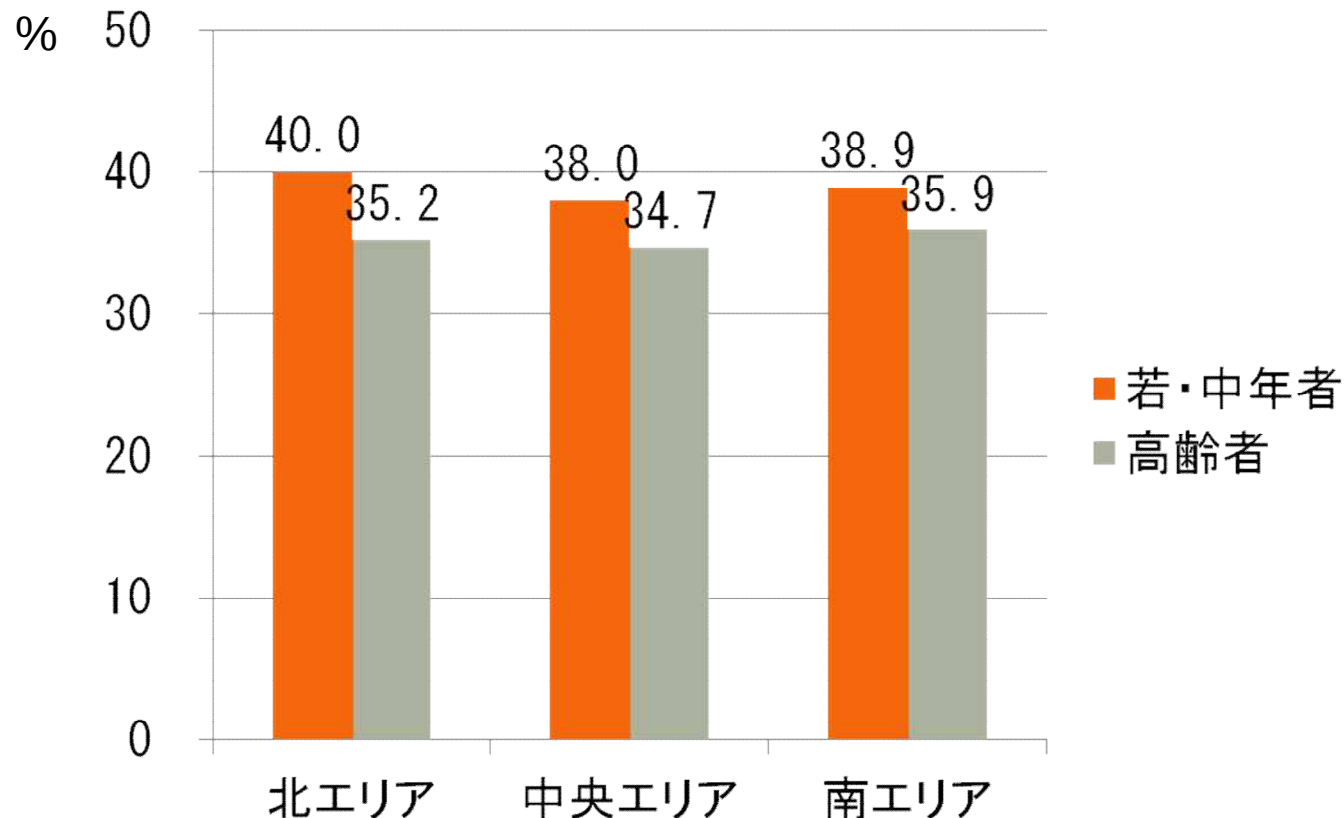
2. 社会とのつながりの状況 ー 居住形態～独居者の割合

- 北エリアでは高齢者の方が独居の割合が高いですが、中央・南エリアでは若・中年者の方が独居の割合が高いです。特に、中央エリアで明らかです。



2. 社会とのつながりの状況 － 同居家族以外との交流

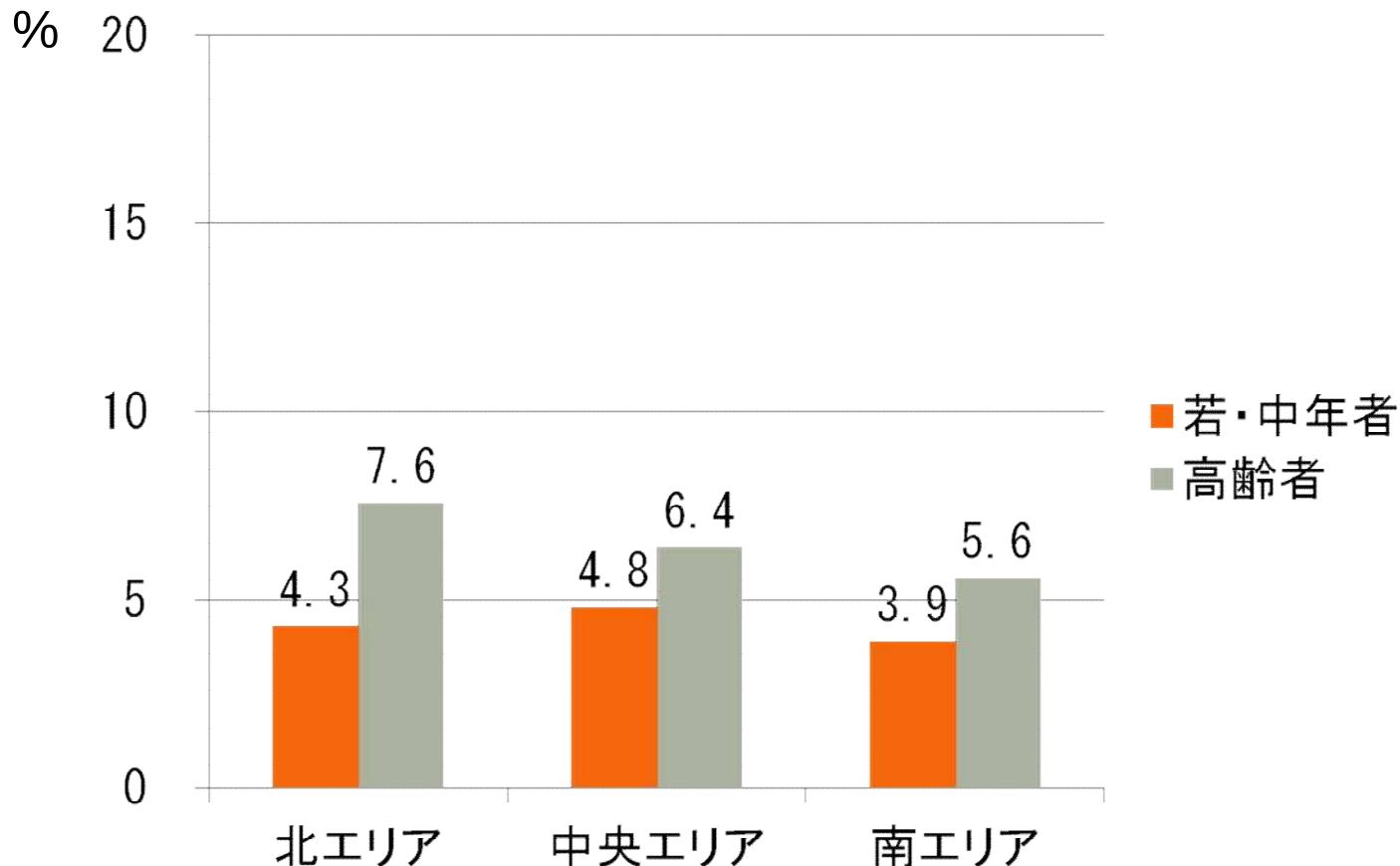
- 別居の家族・親類・近隣～対面・非対面接触とも週に1回未満の割合
 - 若年者の方が孤立割合が高いですが、仕事上の付き合いが含まれていないのが理由と思われます。



2. 社会とのつながりの状況 － 社会的サポート

☞ 心配ごとや愚痴を聞いてくれる人がいない割合

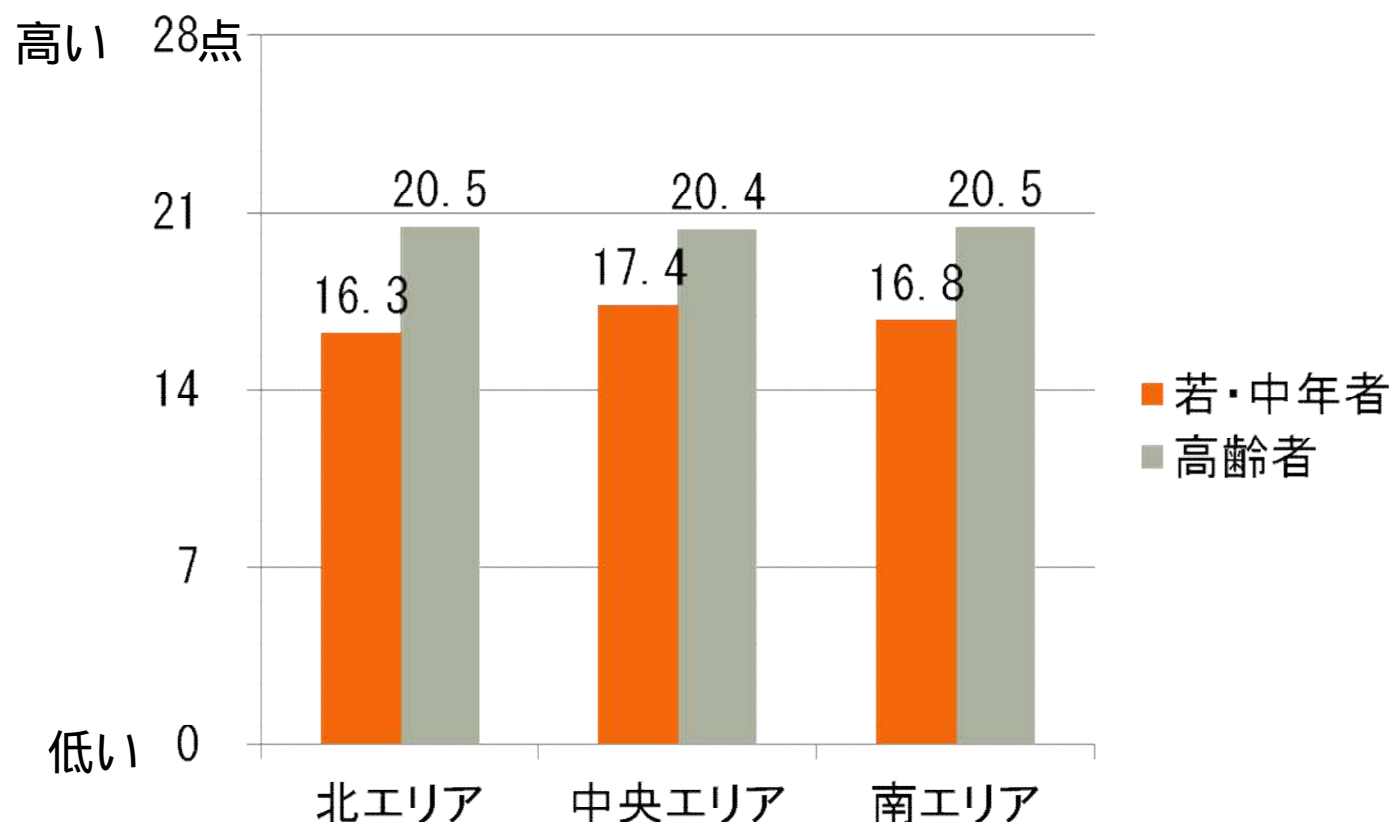
- 高齢者の方が心配ごとや愚痴を聞いてくれるような人が少ないようです。



3. 地域や行政への意識

ー 近隣地域についての信頼感・規範意識

- ⑧ ソーシャルキャピタル(ご近所力、社会関係資本)の平均値
 - あまりエリア間の差は見られません。高齢者の方が高いです。

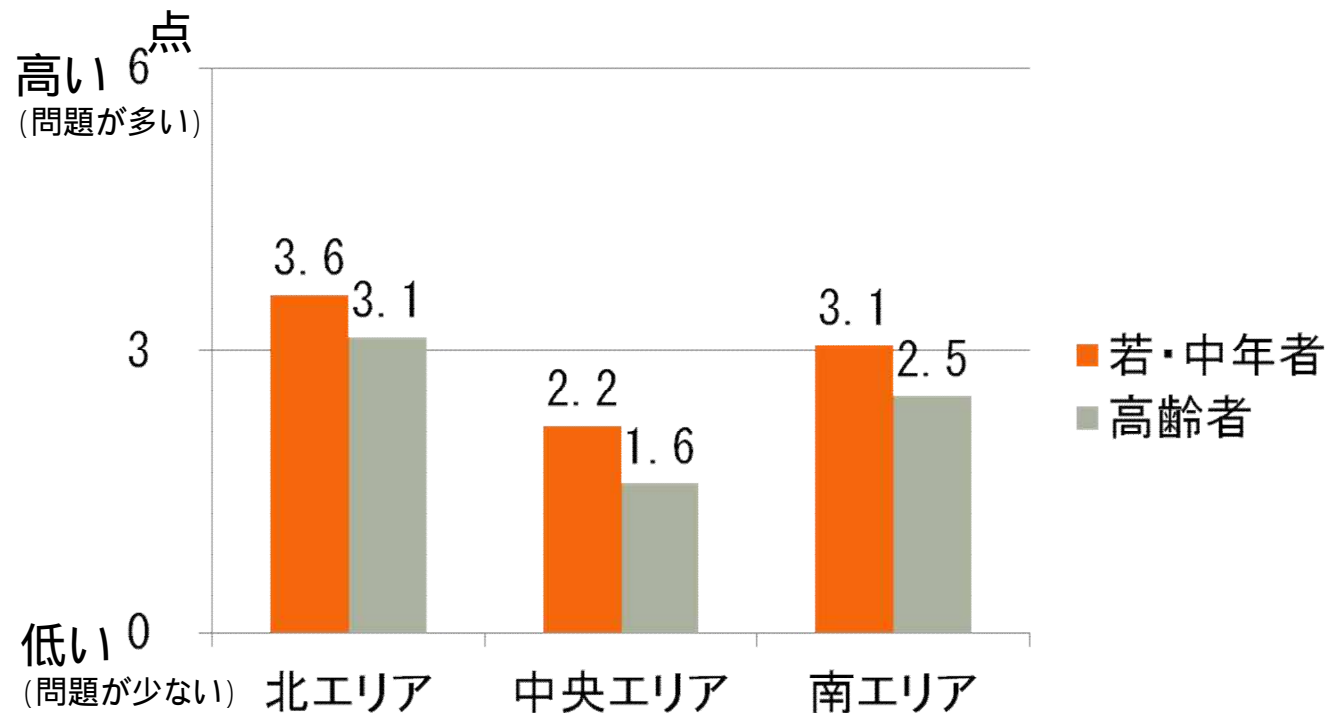


地域の雰囲気として「気軽に挨拶をする」「信頼できる」「愛着を感じる」など7項目で、0点～28点。得点が高いほどソーシャルキャピタルが高い。

3. 地域や行政への意識 ー 近隣環境の評価

近隣の物理的な環境についての評価(平均点)

- 若・中年齢者の方が厳しく評価する傾向があります。
- エリア別では中央地区の評価が比較的よいようです。

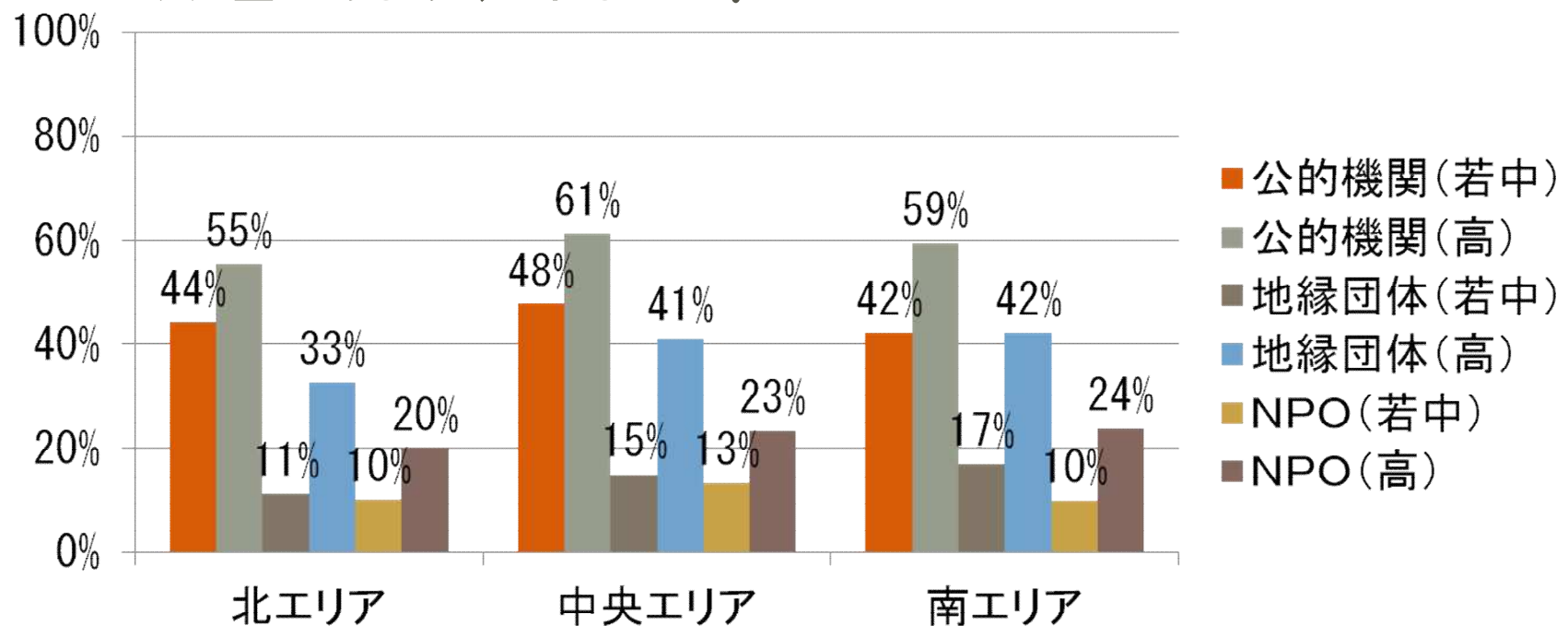


「ゴミの放置が目立つ」「危険な道路や交差点がある」「交通の便が悪い」など6項目で、0点～6点。得点が高いほど近隣環境が悪い。

3. 地域や行政への意識 ー 公的機関や地域団体への信頼感

🌀 頼りになると答えた割合

- 若・中年齢者は高齢者より、頼りになると考えている人は少ないようです。
- 公的機関に対しては比較的高く、ボランティア・NPOに対しては低めです。
- エリア差はあまりみられません。

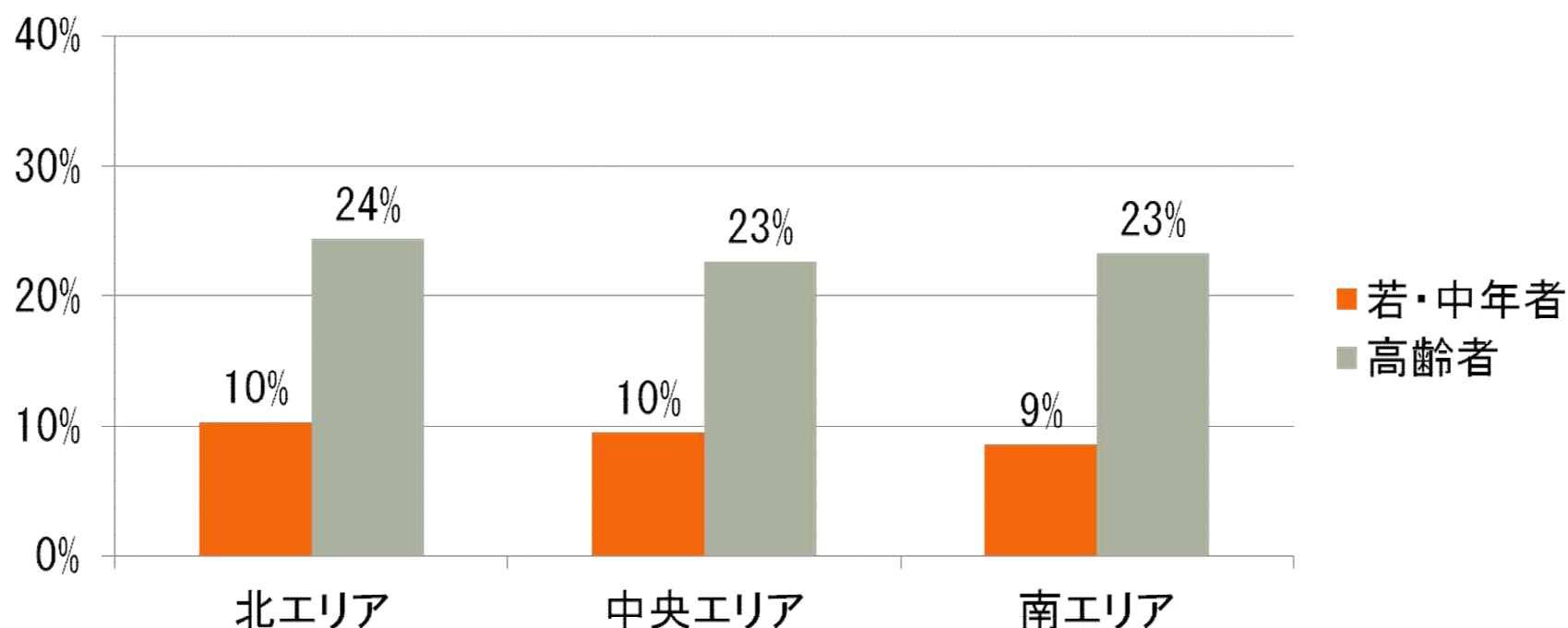


「市役所などの公的機関」「自治会などの地縁団体」「ボランティア・NPO」について、「頼りになる」と答えた割合

4. 生活上の不安や満足度 ー 健康度自己評価

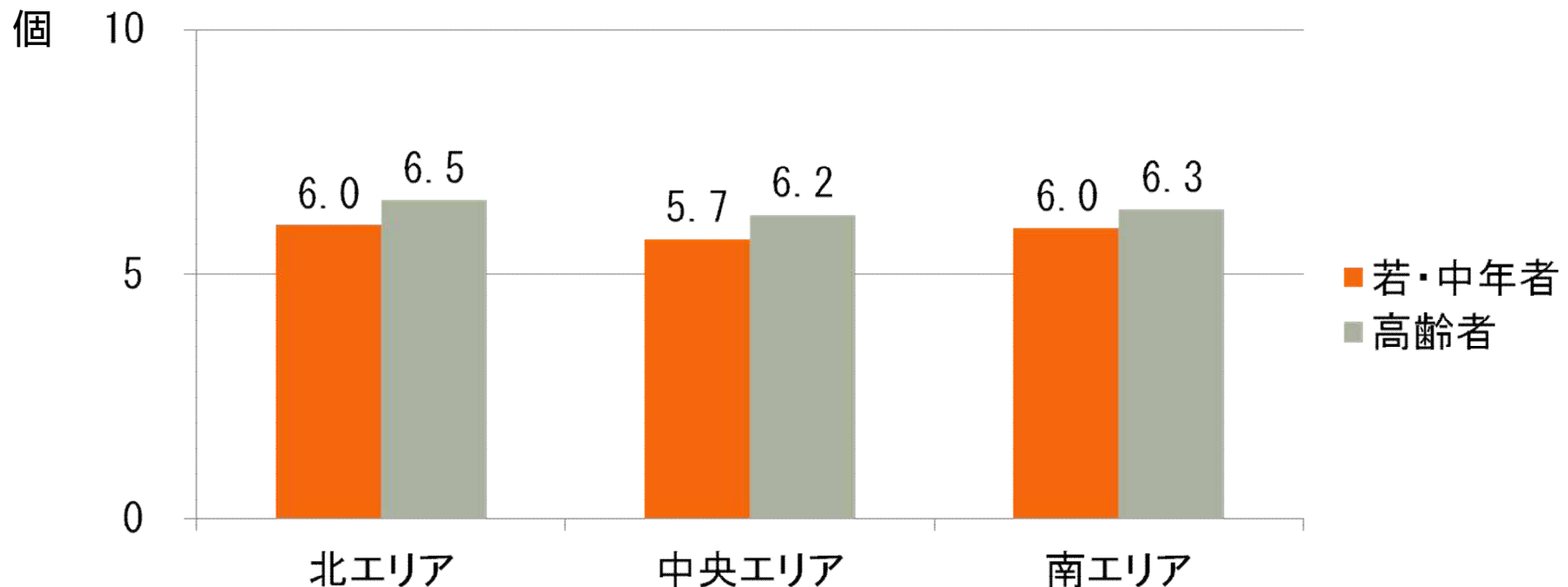
健康でないと答えた人の割合

- 若・中年者に比べて高齢者は健康でないと回答する割合が2倍以上です。
- エリア間の差はあまりないようです。



4. 生活上の不安や満足度 ー 将来への全般的な不安感

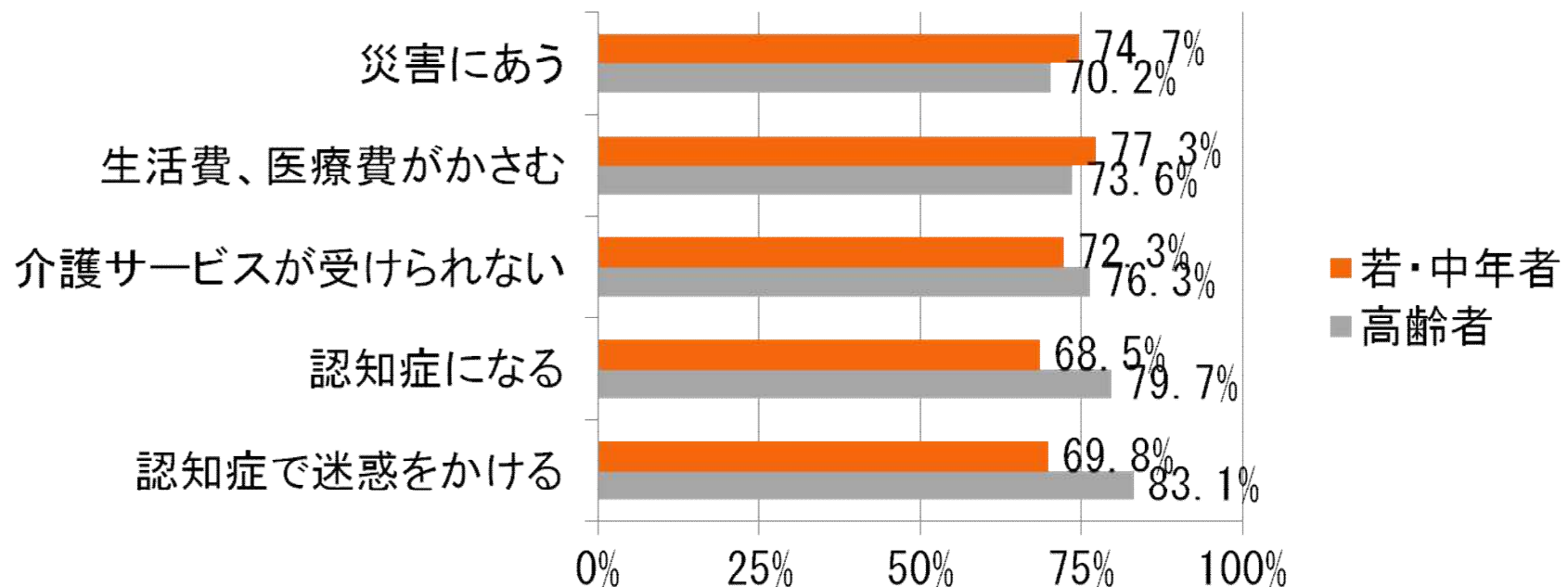
- ☞ 「犯罪にあう」「災害にあう」「生活費がかさむ」「認知症になる」など10項目について、「不安がある」と答えた項目数の平均
- 高齢者の方がやや不安が強い傾向がみられます。
 - エリア間の差はあまりないようです。



4. 生活上の不安や満足度 ー 将来への不安感の高い項目

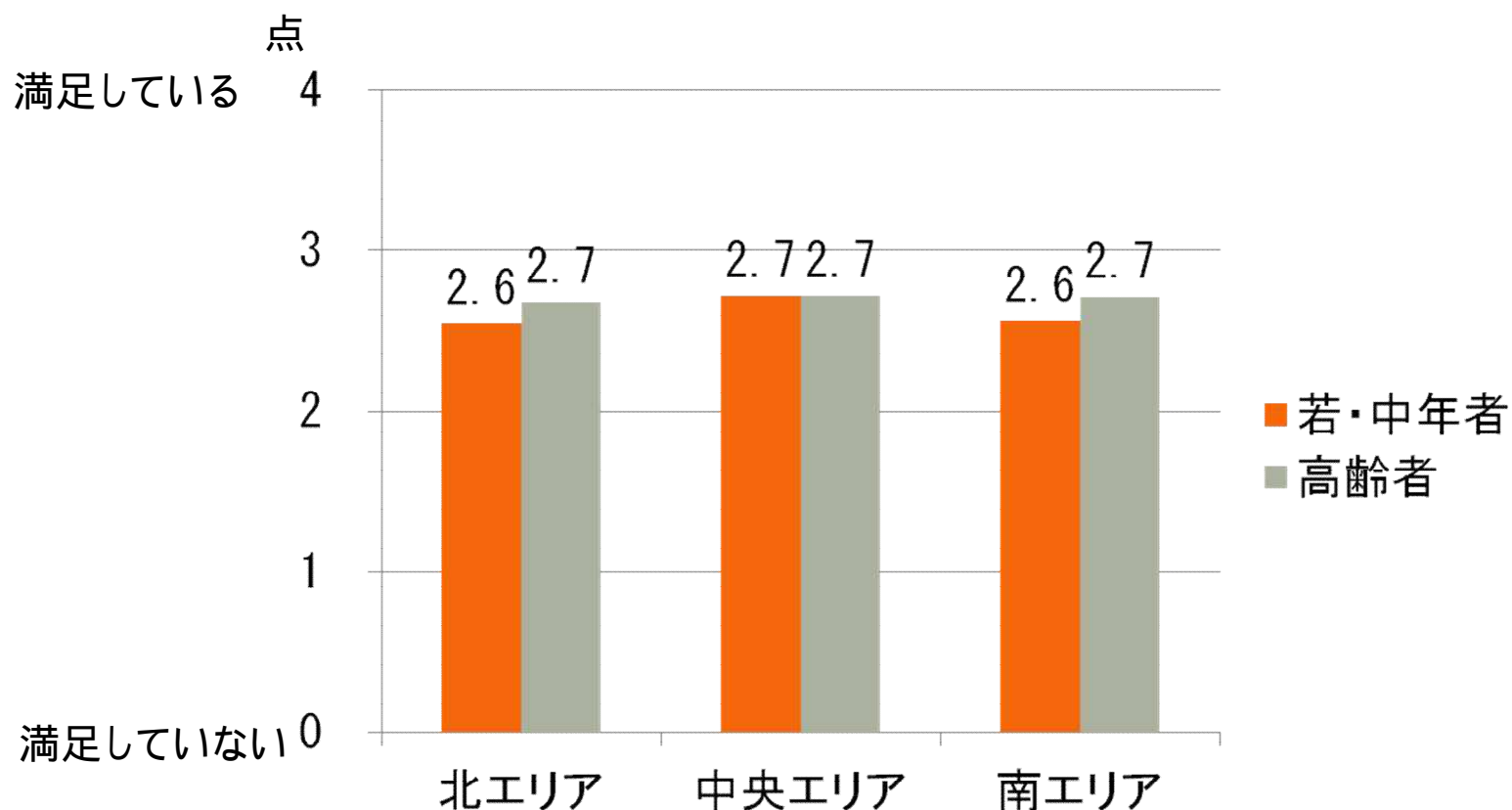
∞ 将来への不安感の高い上位5項目

- 高齢者の場合、「介護サービスが受けられない」「身体が弱ったり認知症になる」「認知症になって周囲に迷惑を掛ける」といった項目で不安が高かった。
- 若・中年者の場合、「災害にあう」「生活費がかさむ」ことへの不安が多かった。
- エリア間の差はほとんどありませんでした(図示省略)



4. 生活上の不安や満足度 ー 全般的な生活満足度

- 生活の満足度は殆ど世代・エリア間に差がありませんでした。



全体として生活に満足しているかを0点～4点で自己評価した平均

5 . まとめ

- ✎健康度自己評価や全般的な生活満足度は概ね良好のようです。
- ✎一方、人との交流やサポートにおいては、さらに向上の余地があるでしょう。
- ✎地域別よりは年齢層による差異が見られ、世代間で異なる対応が必要と思われます。